

令和7年8月1日

立教188年

8月号
第635号



発行所

天理教宇仁大教会
〒677-0015 西脇市西脇770-4
電話 0795(22)4066番
FAX 0795(22)4072番
unigrandchurch@yahoo.co.jp

8/21(木)～22(金) 少年会さんさいの里キャンプ

8/24(日)布教推進講話、9/9(火)布教研修会



大教会毎月団参(7月)

散歩道

八月は仏教行事の盂蘭盆会(旧暦のおぼん)があつて、恒例行事として古い教会でも祖霊様のお祀りをされているところがあるそうです▼
「ご冥福をお祈りいたします」これは逝去された方に対する「あいさつ」のようなもので、その人の信仰する宗教に関係なく、一般によく使われています▼しかし、仏教のある一派では、「私たちはこの言葉は使いません」とおっしゃいます。信仰とは亡くなった後の冥土での福を念じるものでは無く、幸せを現世でつかむためのもので、とお話になりました▼「この道に縁ある人の、親神の懷に抱かれて」これは大阪のある教会のお墓に刻まれた言葉です。この身は神様からの借り物、死んで魂が無くなってしまふのでは無く、借りた身体を返すだけのこと。現世で積んだ徳や不徳は、必ず神様が思い描かれた新しい魂に乗っかって、しかるべき場面に現れてきます。魂さん、しばし親神の懷に抱かれて、安らかにお鎮まり下さいませ・・・と書かれてあるように思います▼かしの・かりもの・の教理を身につけた私たちは、「ご冥福」とは別の次元にいることを忘れてはなりません。

一理塚

七月五日に日本で大地震が起きる、という噂が世間を騒がせました。漫画に出てくる予知夢の内容が SNS などのネット上で広まった根拠のないお話なのですが、日本への旅行控えや航空機の減便など現実社会に影響を及ぼすまでになりました。

この七月地震説は根拠のないデマだということですが、SNS ではデマほど拡散しやすいという特徴があるようですので注意したいものです。

しかし一方、南海トラフ地震は、科学的な研究により、近い将来、高い確率で発生するとされているので、七月地震説のデマとは関係なく、備えをしておきたいものです。

南海トラフ地震は、駿河湾から日向灘沖にかけてのプレート境界を震源域として繰り返し発生してきた大規模地震で、今後三十年以内に発生する確率が七十〜八十%で、具体的な発生時

期は特定できませんが、過去の地震間隔や地盤変動のデータから、二〇三〇年代に発生する可能性が高いと予測されています。

南海トラフ巨大地震は、甚大な被害が想定されていますが、私たち一人ひとりがこの災害に備えることは、命を守るだけでなく、家族や地域社会の安全にもつながります。ここでは、私たちができる備えをすこし考えてみたいと思います。

まず、物理的な備えとしては、日常的な防災対策が欠かせません。家具の固定や非常持ち出し袋の準備、水・食料の備蓄などは基本的な対策です。また、避難経路や避難場所を家族で確認し、定期的に避難訓練を行うことで、いざというときの行動が迅速かつ的確になります。

神様は折々に「日々」や「常」という言葉で、私たちの日頃のつとめ方をお諭し下されています。日々からの対策を心掛けたいものです。

一方で、忘れてはならないのが心の備えです。物理的な準備だけでなく、心理的な準備や心構えも不可欠です。不安を行動に変え、日々の暮らしの中で無理なく防災意識を高めていくことが、私たちの命を守る力となります。そして、心の備えを支えるのが信仰的な思案だと思います。信仰的な心構えと行動は私一人だけではなく、家族や地域全体の安心と安全を支えることにもつながるのです。

お道では、自然災害も含めてあらゆる出来事は親神様の思召しであり、人間に対する教え・気づきの機会と考えることができます。災害は単なる不幸、ましてや天罰などではなく、人々が自らの心遣いや生き方を省みるためのたすけへの導きと捉えることができるのです。

災害のような困難な出来事は、自らの心を見つめ直す契機をお与えいただいていると考え、反省や感謝の心を持つことも大切です。

また災害時には、ボランティアへの気運が大きく喚起されることは過去の例からよく知られています。災害時に限らず、常々から、報恩感謝のひのきしんの精神で、たすけあい行いを地道に続けていくこと。これが陽気ぐらし実現の一步でもあり、災害への大きな備えともなると私は考えます。

災害が起こる原因を特定の人や行動に求めて非難するのではなく、すべての人が心を正し合い、たすけ合うことが重要です。

お道において災害は、単なる天災としてではなく、親神様からのてびき、として捉えられます。災いの中にも救いの道がある、という思いで常々から自らの心を磨き、人々とたすけ合い、陽気ぐらしを目指しましょう。災害は悲しいものではありませんが、それを乗り越えて他者と心を通わせる機会として受け止める姿勢が、天理教の信仰の核心だと思っています。

布教部よりお知らせ

『全教会布教推進月間』～一手一つに世界たすけの歩みを進めよう～

〈趣旨〉

・全教会が布教に意識をおいた一か月を過ごす
従来から例年九月を「にをいがけ強調の月」として勤めているが、本年は年祭活動仕上げる年として、より一層布教に対する意識を高め、全教会が一日でも多く、一人でも多くのようばくと共に布教に動き、御教えを世界へ広める。

〈期間〉

立教百八十八年八月二十四日（日）～九月二十三日（火）

〈計画〉

・部内教会
教会ごとに期間中の布教日を設定し、教会家族・ようばくにも告知する。
・青年会 婦人会実動
会ごとに布教実動日を定め、一人でも多くの会員と共に実動する。

〈計画書〉

所定の計画書にスケジュールを記入し、大教会に提出
締め切り 八月二十四日

〈留意点〉

・一日でも多く布教実動日を設定する
大教会では、本年一月より月間の布教実動報告書を提出して頂いていますが、この九月は布教推進月間として普段の月より一日でも多く布教日を設定し、月間報告書の全教会提出を目指します。
・ようばくが一人でも多く実動することを目指す
教会長だけが布教に動くのではなく、一人でも多くのようばくが布教に実動できるように丹精に努める。
・継続的な布教実動
九月の実動が今後教会の継続的な布教へと繋がり、年祭活動の締め括りに更なる拍車を掛けると共に、年祭後も教会の常時活動として布教が行われることを目指す。

教祖と共に歩む三年千日 大教会布教実動日

『教祖のお供に歩かせて頂く日』

毎月十五日 午後一時三十分 大教会集合

戸別訪問・振り返り

午後三時三十分 解散

『親神様の神名を世界へ流す日』

毎月二十四日 午後一時三十分

神名流し

午後二時 終了 宇仁大教会

布教推進講話

「一言のにをいがけが
人の運命を変える」

講師 近藤 栄一

那美岐大教会 廣関分教会長

日時 立教百八十八年八月二十四日（日）

大教会月次祭後

さんさいの里キャンプ
のご案内

少年会宇仁団では今年も八月二十一日（木）～二十二日（金）にかけて、奈良市にあるさんさいの里でキャンプを行います。
ゲームやクラフト、キャンプファイヤーやBBQなど、自然の中で楽しい企画が満載で、少年会本部のお兄さんやお姉さんも一緒に遊んでくれます。

対象は小学四年生以上の教会布教所子弟孫です。三年生以下の子どもさんで参加希望されます方は、育成会員一名の付き添いをお願いします。

また学生さんや女子青年さんもスタッフとして是非ご参加下さい。

〈お問い合わせお申込み〉

宇仁団団長原田 （090-3

616-3271）まで。

一次締め切り日は、八月十四日

（木）となっております。

ご参加お待ちしております。

大教会毎月団参(7月)報告

さる七月十三日 晴天の下、七月の毎月団参が執り行なわれました。四十七名がそれぞれ大教会マイクロバスや各教会のマイクロバス、ワゴン車や電車等でおちばへ帰り、東礼拝所に参集、午前十一時三十分、教祖百四十年祭の願いづとめをちば一つに心を合わせて勤めました。

午後は伏せ込み行事として詰所大広間で、本部長永尾教昭先生の「教祖と共に」とのタイトルのDVDを鑑賞、おちば帰りの大切さ、一人一人の信仰の大切さを学びました。



別席者は別席場へ向い、天理大学のオープンキャンパスに行く学生さんもあり、それぞれ充実した毎月団参となりました。

〈参加者〉

帰参者…四十七名
伏せ込み行事参加…四十名
別席…中席 四名

○八月の毎月団参のご案内

〈日時〉

八月十七日(日)
十一時半 東礼拝場集合

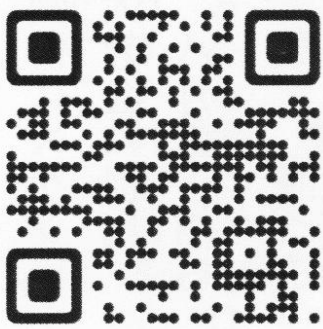
〈内容〉

本部お願いづとめ参拝
午後 伏せ込みひのきしん
お茶所周辺

八月開催の毎月団参について
のお問い合わせは

八月担当(笹倉和史:080-3790-9364)まで

また、詳細は左記のQRコードからご確認ください。



● 訃報

西兵庫分教会五代会長

徳岡あき子刀自

令和七年六月二十八日、

お出直し(享年百歳)

おさづけの理拝戴

昭和二十二年三月二十五日

修養科修了

昭和二十二年三月二十七日

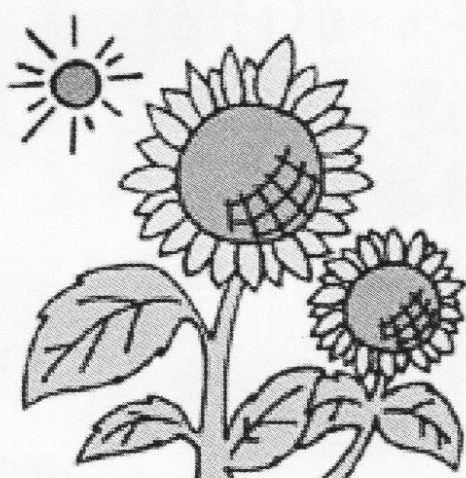
教人登録

昭和四十三年七月二日

教会長資格登録

平成二十四年七月一日

慎んで哀悼の意を表します



おちば通信

六月のうごき

◎修養科修了

来住 藤野 勝

◎六月帰参者

二〇一名
(詰所調べ)

八月行事予定表

6日 青年会例会

9日 婦人会例会

9、13日 学生生徒修養会高校

の部

15日 布教実働日

17日 宇仁大教会毎月団参

19日 少年会例会

21、22日 少年会さんさいの里

キャンプ

24日 大教会月次祭

午前十時三十分執行

布教推進講話

講師:近藤栄一先生

26日 本部月次祭

午前九時執行

婦人会より

◇大教会炊事当番

8月 神福B

9月 中河合

10月 豊原

よろしく

お願いします